



徳山大学広報

学園台の風

何かに“いちばん”の自分がある

第56号

平成21年7月10日 発行

学生生活のいま

徳山大学経済学部ビジネス戦略学科

スポーツマネジメントコース1年

笠原 智穂 さん (広島県立佐伯高等学校出身)

学生生活は、とても楽しく過ごしています。クラブ活動はアーチェリー部に所属して、今年度の中国大会では個人の部で優勝することができました。今後、勉強面でもクラブでも努力を続けていきたいと思っています。

発行 徳山大学
撮影・編集 中村道陽
山口県周南市学園台
TEL 0834-28-0411 (代)



身近にある財政

齊藤由里恵

この春より徳山大学で財政学を担当しています。私が周南市にはじめてきたとき、夜景の美しさと道路が広く立派だということが大変印象的でした。夜景をよく見ると、石油コンビナートや工場の煙突の明かりがあり、周南市の産業構造がなんとなくわかりました。道路は、特に徳山駅前の御幸通りが印象的でした。私を知る限りでは、周南市（約15万人）と同等の人口規模の市町村にはあそこまで広く立派な道路はないと思います。産業構造や道路というものは財政と深い関係があります。ですから、はじめて来たときにこのようなことが気になったのは、私が財政を研究しているからかもしれません。

私が財政を研究するようになったのは、中国に留学したことがきっかけでした。私は大学三年生の時に、一年間休学して北京にある中国人民大学に留学しました。その際、さまざまな国籍の友人とふれあいました。その中には、母国の政治が混乱状態でも帰国できないという友人や、帰国しても仕事がないために帰れないという友人がいました。その時、「帰る場所」があるということが、こんなに幸せなことなんだと気づきました。それと同時に、意外と自分のこと、日本のことを知らないことにも気づきました。

その頃、日本では「財政難」とか「財政破綻」などが

頻りに言われていました。日本という国が破綻するの？破綻してしまったら私の居場所は？という疑問もでてきて、財政に興味をもちはじめたのが財政を研究するスタートとなりました。

みなさんは、財政学にはどんなイメージをもっていますか。「難しそう」とか、「よくわからない」とかいう答えをたびたび耳にします。私もはじめはみなさんと同じでした。「財政」と聞いても、ピンと来ませんでした。新聞やニュース番組などでも「財政」という言葉はよく耳にします。そして、新聞にも「財政再建」「財政構造改革」「年金改革」などといった見出しが頻りに登場します。常に財政問題は経済的にも政治的にも大きなテーマとして取り上げられています。しかし、意外と「財政」について理解をしている人は少ないように感じます。



「財政」とは政府の経済活動を指しますが、「予算が〇兆円」とかいった巨大な額を目にすると、ピンとこない人も多いでしょう。また、「政府」というと遠い存在のように感じる人もいると思います。しかし、「財政」は私たちが生活する社会のあらゆる場面に登場します。財政はとても身近にあり、

私たちの生活に欠かせない物なのです。

例えば、みなさんが毎日使う道路、私たちの暮らしを守る警察や消防といった公共サービスは財政の一つです。今や公共サービスなしでは、私たちは生活できません。また、これら公共サービスを提供するための財源は、私たちの負担（税金）で賄われています。財政は、私たちの生活にとっても身近な存在なのです。

私は、学生のみなさんには授業を通して、財政への興味を高めてもらいたいと思っています。それは、財政を考えることが自分の住んでいる場所、すなわち自分の生活を考えることに繋がるからです。自分の生活という一番身近なところには、意外といろいろな発見があります。発見と聞くとワクワクしてきますよね。学生生活の中にはたくさんの疑問が眠っています。財政学を通して一緒に探し、解決するような、そんな授業を展開していきたいと思っています。



齊藤由里恵（さいとうゆりえ）講師

2009年4月から徳山大学経済学部に着任。専門分野は、財政学・地方財政論。講義では、デイトなど、さまざまな工夫を取り入れ、学生参加型の授業を目指している。

学生作品紹介

本学、知財開発（マンガ・アニメ・メディアデザイン）コース学生作品を紹介します。

知財開発コース

3年

斎藤麻理恵



淡い透明感のあるすがすがしい色彩の絵が描きたいと思い、水彩で描いてみました。淡い感じの出し方は大学に入ってから、学びました。また違うタッチの絵もこれからチャレンジしたいです。将来は、イラストを描く仕事に就きたいと思い、勉強しています。

知財開発コース

3年

藤本聖子



この作品は、友達の小説の扉絵を描いてくれと言われて、描いたものです。絵を描く時はいつも真剣なのですが、初めて「俯瞰」ということを強く意識して描いたものです。将来はデザイン系（ポスター・広告等）の仕事を目指しています。

全日本大学野球選手権応援記

6月8日夜、明日9日行われる全日本大学野球選手権大会1回戦の応援のため、野球部学生・保護者を中心とした応援団はバス2台で大学を出発しました。深夜の高速を走り一路東京方面へ。早朝、浜名湖で休憩をとり、その後3時間ばかりで都内へ入りました。試合会場の東京ドームへは午後3時過ぎに到着。日頃テレビで、なじみのドーム球場を目前にして、応援団一同も一気に気分が高まりました。正面ゲート前には徳山大学関係者受付を設け、のぼり旗を立てました。授業の合間をぬって、当日教え子の活躍を見るため飛行機でかけつけた下部准教授、東京在住の根本特任教授をはじめ、関東在住の卒業生も多数応援にかけつけ、総勢200名が応援席を埋めました。試合は、前半岸村選手の本塁打で先制するなど、攻勢をかけていきましたが、しだいに流れは相手に傾き、1対2で惜敗しました。試合直後、夕暮れの東京ドーム正面ゲート前に選手一同が整列し、主将の中武選手より「頂点を目指すと言いながら、1回戦で敗れ、悔しい気持ちです。本当に多くの応援いただき誠にありがとうございました」と挨拶があり、集まった応援のすべての人から惜しみない拍手が送られました。

試合には敗れましたが、この大会により試合に至るまで、そして試合中、試合後と、選手はもとより、多くの関係者が、それぞれの思いで、日頃感じ得ることのできない、「非日常空間」を体験し、感動を胸にできた事は、何よりもかけがえのない経験だと思いました。



アーチエリー場 完成記念落成式開催

6月13日徳山大学アーチエリー場の完成を祝い落成式並びに記念行事が開催されました。アーチエリー場は今年2月に着工し、4月上旬に完成を迎えました。本学のアーチエリー場は50M60M70Mの公式戦に対応、夜間でも練習ができるように照明設備も備えています。この日はまず、落成式が行われ、池高理事長、杉光学長の挨拶の後、来賓としユニフォームスポンサーである㈱サマンザジャパンの小野会長、また山口県アーチエリー協会大橋理事長などから祝辞をいただきました。主将の大迫君の謝辞が述べられ、試射式が行われ、1年生の石津さんがくす玉を見事に1回で射止めました。このあと、時記念行事として佐伯高校、周防大島高校、聖光高校、華陵高校、田布施農業高校による団体戦が行われました。



写真協力：山田洋一

大学周辺環境美化のための クリーン清掃活動



5月30日徳山大学・徳山高専の学生と、地元平原地区の自治会の方たち総勢250名で共同の清掃作業が行われました。大学の近隣の方たちと恒例行事として毎年行われ、ゴミ拾いや、草刈りなど行われました。

菅原浩志監督(客員教授)の講義はじまる一映画製作実習授業



6月26日、「僕たちの七日間戦争」などの代表作で知られる映画監督菅原浩志客員教授による映画製作実習授業の講義が行われ、約30名の学生が受講しました。この講義は、夏期に4日間にわたり開催される講義の事前授業で、先生は映画の企画・構想の立て方について講義をされました。熱い授業に、学生も食い入るように話を聞いていました。

オープンキャンパス 2009

7月11日(土) 8月8日(土) 29日(土) 9月20日(土)

在学生がご案内する徳山大学のオープンキャンパス。親切な学生が、来られるすべての人を、心を込めてご案内します。多くの方のご参加をお待ちしています。

お問い合わせ先 入試室

0834-28-5302



オープンキャンパス2009

7月11日(土) 8月8日(土) 29日(土) 9月20日(土)

徳山大学

無料送迎バス運行!